

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
氏名	福島 花咲里 (かざり)
着任日	令和 2 年 2 月 1 日

活動月	令和 4 年 4 月 (着任 27 ヶ月)
主な活動	1. EIGO で釜蓋神社の観光案内記事を公開！ 2. 早期米の田植えを体験しました

1. EIGO で釜蓋神社の観光案内記事を公開！

釜蓋神社管理運営委員会と協力して、釜蓋神社の名前で親しまれている射楯兵主神社の観光案内記事を EIGO で公開しました。(https://ei-go.jp/kamafuta_annai/)

参拝したことがある人にとってはお馴染みの釜蓋を頭に乘せて第二鳥居から本殿まで歩く独特の参拝方法や波打ち際の釜へ向かって素焼きの釜蓋を投げる「釜蓋投げ」をはじめ、勝負事のご利益があるといわれている腕輪 (ブレスレット) についても紹介しています。

撮影の際は、南九州市 穎娃町を拠点に活動している Siii scale studios の鮫島さんにご協力いただきました。(私のパートナーでもあります)



本報告書をご覧の方の中で「私のところも EIGO で取り上げてほしい」「あそこ取材に行ったら面白いよ！」などありましたら、教えていただくと嬉しいです。人物や商品、景色など、さまざまな視点からの情報をいただくと助かります。自薦、他薦どちらでも構いません。情報お待ちしております！

▼連絡先

Facebook : <https://www.facebook.com/Fukushimakazari>

メールアドレス : kazagulumaaa@gmail.com

2. 早期米の田植えを体験しました

4月の1週目に颯娃町で早期米の田植えを体験しました。これまでの田植え経験は小学生の時の行事と、数年前に肝付町のとある集落でやらせてもらった程度で本格的な田植えは久しぶりでした。誘ってくれたのは、颯娃町で焼き菓子とグラノーラのお店 ル・プロンド・アーカーのオーナーである通称：あっこさん。移住してからとてもお世話になっている方のひとりです。当日はアーカーで働いている家族のみなさんと一緒にがんばりました。



田んぼを貸してくれて田植えの指導をしてくれたのは、りんふぁーむの皆さんです。慣れない早起きだったものの、みんなで声を出し合っわいわいとした雰囲気を楽しむことができました。作業が半分ほど済んだ頃には、楓のりょうこさんからアイスクリームの差し入れがありました。



田んぼで過ごす時間は颯娃町で暮らす人にとっては当たり前かもしれませんが、都市部からの移住を考えている人の目線で見るととても新鮮な風景として映ると思います。広い青空の下で全身を使って自然と遊ぶ。そして、それが自分の体をつくる食べ物として巡っていく。ひと昔前の日本では当たり前だった風景が、今もこうして守られていることの価値を五感で感じる一日となりました。田んぼで過ごす時間を通して、ローカルと都市部の橋渡しになるような情報をもっと発信していきたいという気持ちも強くなりました。

翌日は太もも辺りに程よい筋肉痛が… 今後は定期的な草刈りを続けて、収穫はお盆前ごろだそう。みんなと出来上がったお米を食べるのが楽しみです。